

教科	情報				
科目	情報Ⅰ	単位数	2 単位	履修年次	1 年次～
使用教科書	情報Ⅰ N E X T (数研出版)				
副教材等	情報Ⅰ N E X T サポートノート (数研出版)				

1 グラデュエーションポリシー及びカリキュラムポリシー

グラデュエーションポリシー	卒業までにこのような資質・能力を育成する。 ①規則正しい生活習慣を確立し、前向きに社会生活に取り組む資質を育成する。 ②主体的に行動し、コミュニケーション能力が高い人間を育成する。 ③他者を尊重し、様々な課題を持つ人との関わりを大切に地域に貢献できる能力を育成する。 ④どのような困難にも立ち向かい、適応できる人間に育てる。
カリキュラムポリシー	資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う。 ①毎日学校に通うことを目標に、生活リズムを崩さない行動を促す。 ②日々の挨拶や、ルールやマナーを意識した学校生活を行う。 ③他者の立場を尊重し、思いやりや寛容の精神を育成するため、人権同和教育に力を入れる。(年3回以上はクラス単位での授業を行う) ④総合的な探究の時間において、1年次から系統的なキャリア教育を展開する。

2 学習の目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。

3 指導の重点

- ①必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力を育成する。
- ②情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解を深める。
- ③社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を育成する。

4 学習計画

学期	単元名		教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法			
前期	第1編 情報社会の問題解決	ワー ー プ ロ ソ フ ト 実 習	教科書 副教材	情報とメディア	4	授業の取り組み 実習作品 出席態度 定期考査			
				情報社会における法とセキュリティ	4				
				情報技術が社会に及ぼす影響	8				
	第2編 コミュニケーション と情報デザイン			情報のデジタル表現	13				
				コミュニケーション手段 の発展と特徴	4				
				情報デザイン	2				
後期	第3編 コンピュータとプロ グラミング			コンピュータのしくみ	9				
				プログラミング	13				
				モデル化とシュミレー ション	4				
				ネットワークのしくみ	3				
	第4編 情報通信ネットワー クとデータの活用			データベース	4				
				データの分析	2				
							計	70	(50分授業)

5 課題・提出物等

実習作品・プリント

6 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

7 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【評価】 考査の「知識・技能」の 得点率が70%以上・・・A 得点率が40%以上・・・B 得点率が40%未満・・・C	【評価】 考査の「思考・判断・表現」の 得点率が70%以上・・・A 得点率が40%以上・・・B 得点率が40%未満・・・C	【評価】 提出物の内容や振り返りシート・授業中の発言が十分に満足できる状況と判断できる・・・A おおむね満足できる状況と判断できる・・・B 努力を要する状況と判断できる・・・C

8 担当者からの一言

携帯電話やパソコン、インターネットは今や私たちの生活に欠かせないものになっています。しかし、便利な面がある一方、迷惑メール、著作権の侵害など、情報機器やネットワークにまつわるトラブルや犯罪も多く起こっています。そのような被害に遭わないために、事例に触れながら情報モラルの勉強もしていきます。